

4

骨粗しょう症検診

1 概要

1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨を測定した。

2] 判定基準

		異常認めず	要 指 導	要 精 検
音響的骨評価値 ($\times 10^6$)	男	2.630以上	2.351～2.629	2.351未満
	女	2.428以上	2.158～2.427	2.158未満

3] 事後指導

骨粗しょう症予防の為の適切な食習慣や運動習慣等について、保健師による個別指導を実施した。

2 実施状況

表1 性・年齢階級別判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	要 指 導 (%)	要 精 検 (%)
男	19歳以下	0	-	-
	20～24歳	4	2 (50.0)	2 (50.0)
	25～29歳	8	6 (75.0)	2 (25.0)
	30～34歳	5	3 (60.0)	2 (40.0)
	35～39歳	5	3 (60.0)	1 (20.0)
	40～44歳	5	2 (40.0)	2 (40.0)
	45～49歳	9	5 (55.6)	2 (22.2)
	50～54歳	7	1 (14.3)	2 (28.6)
	55～59歳	13	3 (23.1)	6 (46.2)
	60歳以上	19	7 (36.8)	7 (36.8)
計	75	32 (42.7)	26 (34.7)	17 (22.7)
女	19歳以下	0	-	-
	20～24歳	6	6 (100.0)	0 (0.0)
	25～29歳	8	5 (62.5)	3 (37.5)
	30～34歳	13	11 (84.6)	2 (15.4)
	35～39歳	10	8 (80.0)	2 (20.0)
	40～44歳	21	17 (81.0)	4 (19.0)
	45～49歳	27	20 (74.1)	7 (25.9)
	50～54歳	30	17 (56.7)	8 (26.7)
	55～59歳	58	19 (32.8)	29 (50.0)
	60歳以上	85	23 (27.1)	45 (52.9)
計	258	126 (48.8)	100 (38.8)	32 (12.4)
総 数	333	158 (47.4)	126 (37.8)	49 (14.7)